

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	蒲郡春まつり事業	
根拠法令等			A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び観光客に
手 段	蒲郡春まつりを開催することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
収入金額	8,094,000円	3,576,823円	3,000,000円
支出金額	7,902,023円	3,509,664円	2,950,000円
参観者	10,000人	5,000人	5,000人
参加者	1,200人	700人	250人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	参観率	参加者一人当たりの経費
成果指標の説明	(参加者＋参観者)/人口	支出済額/参加者

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	6.4%
	実績	13.7%	7.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	11,800円
	実績	6,585円	5,013円	—
事業費	事業費	7,000	3,500	3,000
	人件費	2,410	2,413	2,386
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	9,410	5,913	5,386
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	9,410	5,913	5,386

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	市内の各観光地区をほぼ一巡し、手筒花火を中心とした観光振興に成果をあげてきた。
経済効率性	2	2	負担金が減るなかで、ある程度観客に満足してもらうため手筒花火の放揚本数は減らせない。このため年々参加者の負担割合は増加している。
事務効率性	2	2	市職員が事務を執行し、会場設置業務を一部業者委託している。全体に人員にみあった成果をあげている。
必要性	3	2	観光地区からの要望が非常に強い事業である。今後は地域活性化、観光客誘致とともに三河地域が誇る伝統の手筒花火の継承という意味でも必要である。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市内の各地区で実施されているため、実際の花火放揚は、すべて各保存会の手で行なわれている。また計画段階でも保存会が参加している。
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	年々参加者、参観者も増えているが、やはり実施地区が主体で、蒲郡まつりのような全市的なイベントとはなっていない。地域の活性化と観光客誘致に対する効果を見極める必要があると思われる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
手筒花火の負担金の全体額を設定することにより、各保存会が協議して消費本数の調整をすることができた。	500,000円

⑧今後改善すべき点

より多くの観客に来てもらおうと同時開催していたよさこいのイベントが一定の成果があがったため、今後は手筒花火だけで観客を呼べるようイベントの質を向上したい。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	遠望峰山公園施設管理事業		
根拠法令等	遠望峰山公園施設管理委託契約	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び観光客に
手 段	遠望峰山公園施設を提供し、維持管理することにより
想定する成果	地域の観光振興をはかる

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
県管理委託料	1,177,000円	1,108,000円	平成17年度で事業終了
維持管理費	1,445,590円	1,120,609円	
三河湾スカイライン利用者数	141,750人	165,454人	

④成果指標

成果指標名	①	②
	委託料充足率	
成果指標の説明	県管理委託料/維持管理費×100	三河湾スカイライン利用者数

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	81.4%	98.8%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	141,750人	165,454人	—
事業費	事業費	1,177	1,108	—
	人件費	803	804	—
	(人数)	0.1	0.1	—
	合計	1,980	1,912	—
財源内訳	国			—
	県	1,177	1,108	—
	市債			—
	その他			—
	一般財源	803	804	—

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	1	17年度までの事業であり、観光客誘致に一定の成果をあげたが、スカイランド閉鎖後は、有料道路内の公園施設でもあり、徐々に観光客が減少した。
経済効率性	2	2	現地に精通しているとぼね観光開発㈱に清掃などの業務を委託し、コスト低減をはかった。
事務効率性	2	2	管理委託することにより、職員の事務量は少なくなっている。
必要性	2	1	良好な自然環境に恵まれた公園だが、周辺の観光施設が少なくなり、今後の活用方法は未知数である。
小計	8 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	スカイラインが無料化されたため誰もがいつでも無料で利用できるようになった。
合計	10 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	高度成長期から建設された三河湾スカイライン、とぼねスカイランド、とぼね山自然公園など、本市観光振興に果たした役割は大きい。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
愛知県の公園施設廃止計画に関し、今後の観光地としての利便を図るため、愛知県に対し、より多くの公園事業ができるよう公園事業変更計画を申請している。	

⑧今後改善すべき点

昭和46年度以来、愛知県が設置した同施設を蒲郡市が管理していたが、愛知県の方針により平成18年2月をもって廃止された。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	エリカ号保存・エリカカップヨットレース運営補助事業	
根拠法令等	蒲郡市補助金等交付規則		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	
------------------	--

②事務事業の内容

対象(受益者)	エリカ号保存会及びエリカカップ実行委員会に対して
手 段	エリカ号保存・エリカカップヨットレースの運営補助金を交付することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
保存会補助金額	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円
予算総額	4,920,635円	6,865,820円	6,000,000円
参観者	2,000人	2,000人	3,500人
参加者	520人	500人	650人

④成果指標

①

②

成果指標名	参加者率	補助率
成果指標の説明	$(参加者 + 参観者) / 人口(各年度4月1日現在) \times 100$	$補助金額 / 予算総額 \times 100$

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	5.0%
	実績	3.0%	3.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	16.7%
	実績	20.3%	14.6%	—
事業費	事業費	1,473	1,473	1,000
	人件費	1,607	1,608	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	3,080	3,081	2,591
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,080	3,081	2,591

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	エリカ号の保存は適正に行われている。レース自体の規模及び知名度も国内最大級のヨットレースを維持している。
経済効率性	3	3	財源や組織は安定しており、市民及び観光客のための観覧船も提供されており、補助金の効果はあがっている。
事務効率性	2	2	企画、運営業務の一部を委託し、効率的な事務が行なわれている。
必要性	3	3	全国級の観光資源であり、海のまちがまごおりに必要な事業である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	企画計画段階から、市民参加がなされており、海の関係者からの要望度、満足度は高いものとなっている。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	市民にもすっかり認知され、ヨットレースでは国内最大級のイベントになっており、良い意味での成熟期に入っている。実行委員会組織はしっかりしており、今後も現在の水準を維持していく必要がある。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
メイン会場をラグーナ蒲郡内に移したことで、参加者と市民だけでなく、多くの観光客にも楽しんでもらえ、またラグーナ蒲郡から各事業に協賛していただくことができた。	

⑧今後改善すべき点

国内最大級のヨットレースとなった現在、観光蒲郡のイベントとしてPR、観光宣伝を行うとともに、事務の簡素化をはかるためエリカカップ保存会とエリカカップ実行委員会を統合していく必要がある。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	いかだレース補助事業	
根拠法令等	蒲郡市補助金等交付規則	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	

②事務事業の内容

対象(受益者)	いかだレース実行委員会に対して
手段	いかだレースに係る経費を補助することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
収入金額	1,700,000円	2,100,000円	1,700,000円
事業費総額	4,676,243円	4,420,000円	4,000,000円
参観者	2,000人	2,500人	3,500人
参加者	766人	767人	661人

④成果指標

成果指標名	①	②
総参加率		補助率
成果指標の説明	$(参加者 + 参観者) / 人口(各年度4月1日現在) \times 100$	$補助金額 / 事業費総額 \times 100$

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	5.0%
	実績	3.3%	3.9%	—
成果指標 ②	計画	—	—	42.5%
	実績	36.4%	47.5%	—
事業費	事業費	1,700	2,100	1,700
	人件費	2,410	2,413	2,386
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	4,110	4,513	4,086
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,110	4,513	4,086

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	海のまち「がまごおり」を観光宣伝するという当初の目的は達成されている。今後は市民・観光客がより楽しめるイベントして行なうことが必要。
経済効率性	3	2	企業などの寄付や、ボランティア実行委員などにより、現在の大会水準を維持、適正な参加費で受益者負担を実践している。
事務効率性	2	1	企画、運営は実行委員会で行い、書類作成などは事務局が行っており、効率的な事務が行なわれている。
必要性	2	2	市が直接実施する事業ではないが、観光蒲郡としての海の観光振興に大きな効果をあげている重要な事業であるため、現在の形態で行うべきである。
小計	10 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	3	2	企画運営をすべて実行委員会組織で行い、大会当日も実行委員会ですべて行っている。
合計	13 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	年々規模を拡大するとともに、市民にもすっかり認知されたイベントになってきており、良い意味での成熟期に入っている。新規競技も始まり、市民がより参加しやすい形になってきており、実行委員会組織もしっかりしている。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
大島往復レースを観覧船で見る大会形式に加え、市民会館前のレースを新設し、陸から市民・観光客が気軽に観覧できるようにした。	

⑧今後改善すべき点

今後も広くマスコミなどの広報活動を行い、引き続き海のまち「がまごおり」のPR、観光宣伝を行うとともに、広く一般に認知されたイベントとして、大会の知名度をあげ、県内だけでなく、県外からも参加者を増やし、全国的なイベントとなることをめざしたい。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	入湯税関連補助事業	
根拠法令等	蒲郡市泉源維持管理報奨金制度要綱	A法令	B条例	C規則
		Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	

②事務事業の内容

対象(受益者)	旅館組合及び泉源組合に対して
手 段	温泉管理施設の維持管理に係る経費の一部を報奨金として補助することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
入湯税額	117,187,800円	129,394,200円	135,000,000円
補助金額	50,460,000円	60,275,250円	65,000,000円
入湯税課税施設	17施設	19施設	20施設

④成果指標

成果指標名	①	②
	補助率	1施設当たりの補助金額
成果指標の説明	補助金額/入湯税額×100	補助金額/補助対象者数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	48.1%
	実績	43.1%	46.6%	—
成果指標 ②	計画	—	—	3,250,000円
	実績	2,968,235円	3,172,381円	—
事業費	事業費	50,460	60,275	65,000
	人件費	2,410	2,413	2,386
	(人数)	0,3	0,3	0,3
	合計	52,870	62,688	67,386
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	52,870	62,688	67,386

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	現在では、市内の旅館・ホテルの温泉導入がすすみ、蒲郡市温泉郷のイメージアップに貢献している。
経済効率性	2	2	報奨金は、泉源施設の維持管理費用や旅館組合の観光振興に役立っている。
事務効率性	2	2	税務職員と常時連絡をとり、正確・迅速な事務執行に努めている。
必要性	3	3	最近の温泉ブームのなかで、蒲郡市温泉郷にとって温泉水の安定供給と利用は必要な事業である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市内の旅館、ホテルからの要望把握に努めている
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	温泉水を導入する旅館や給湯量も増加しているため、安定的な温泉供給のため、新規の泉源も必要になっている現在、観光振興、施設整備等に今後も必要な報奨金制度である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
入湯税の安定確保のため、納期後に納入された入湯税に対する報奨金は支払わないこととした。	

⑧今後改善すべき点

ホテル・旅館業界を取り巻く環境は大変厳しくなっており、今後は露天風呂、内風呂などすべての浴槽への温泉水導入をはかるホテル、旅館も増えてくるため、入湯税報償制度を継続していく必要がある。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

今後も増加していく入湯税に沿って、従来どおりの予算見積額としたい。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	万博対策事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市観光協会及び協会会員に対して
手 段	万博開催時の観光客誘致促進のため、万博対策事業に補助することにより
想定する成果	観光事業の振興を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
市観光協会総事業費	51,658,414円	48,327,966円	
万博対策総事業費	—	24,502,131円	
万博事業負担金及び事業内容	—	10,568,100円 EXPOライナー運行 4,500,000円 万博キャンぺーン事業1,568,100円 宿泊キャンぺーン事業3,000,000円 がまボン作成事業 2,000,000円	—
年間観光客数	7,881,630人	7,630,636人	
年間宿泊者数	929,796人	1,010,796人	

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	万博対策事業費に対する負担率	市観光協会総事業に対する万博対策事業の割合
成果指標の説明	負担金額/万博対策総事業費×100	万博対策事業費/市観光協会総事業費×100

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	—	43.1%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	50.7%	—
事業費	事業費	—	10,568	—
	人件費	—	2,413	—
	(人数)	—	0.3	—
	合計	—	12,981	—
財源内訳	国	—	—	—
	県	—	—	—
	市債	—	—	—
	その他	—	—	—
	一般財源	—	12,981	—

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	万博対策事業の中にはEXPOライナー運行事業などのように、当初の予想を上回る利用があったものもあれば、万博キャンペーン事業のように予定利用人数を下回るものもあったが、総合的にみると昨年より、宿泊客に関しては年間全体として前年比5%増であり、蒲郡の良いPRになった。
経済効率性	2	2	観光PRは費用投入した年度に数字に直結しないものが多いが、万博対策事業はタイムリーな時期にキャンペーンを実施し、宿泊者増につながった。
事務効率性	2	2	昨年度途中から市観光協会の職員が1名増員となったので、事務局としての事務を移行中である。
必要性	3	3	通常蒲郡への観光客は中部圏が大部分だが、他地域からの観光客が期待できる万博期間中のこの機会に、蒲郡の知名度を高めるために各種キャンペーンを実施して有益であった。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	万博対策事業の中で市民参加があるのは、EXPOライナー運行事業のみであるが、全体で23,797人の利用があり、概ね2/3が観光客、1/3が市民であった。
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度のみで終了した。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	消費生活啓発等事業	
根拠法令等	消費者基本法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
その他	その他

②事務事業の内容

対象（受益者）	一般消費者に対して
手 段	啓発活動等の推進及び苦情の処理のあっせんに努めることによって
想定する成果	安心できる消費生活に資する。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
蒲郡市受付相談件数	80件	63件	50件
東三河県民生活プラザへの蒲郡市分の相談件数	541件	284件	250件
相談員報酬	—	513,240円	568,000円
消費生活展委託料	58,515円	55,433円	90,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	蒲郡市の1日当たりの相談件数	消費生活展入場者数
成果指標の説明	(市受付分+東三河プラザ受付分)/年間日数(245日)	消費生活展入場者数

⑤事業の進捗状況

		(一般会計) (千円)		
		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1.2件
	実績	2.5件	1.4件	—
成果指標 ②	計画	—	—	1,000人
	実績	1,021人	720人	—
事業費	事業費	886	1,422	712
	人件費	804	805	796
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,690	2,227	1,508
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,690	2,227	1,508

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	近年、消費者トラブルが激増する中、新たに消費生活相談窓口を設け、消費生活専門相談員を配置して苦情の処理のあっせん等を行うなど充実を図った。また、県と連携をして消費者被害未然防止モデル事業を実施し、高校生から高齢者まで幅広く啓発活動を行った。
経済効率性	2	2	ほぼ費用にあった成果をあげている。
事務効率性	2	2	消費生活専門員を配置したことにより、きめ細かな事務運営ができています。
必要性	3	3	消費者が安全で安心できる生活を送るためにも必要である。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	窓口での相談、消費生活展等での市民参加がある。
合計	12 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	相談窓口でのアドバイスや消費者被害未然防止ネットワーク構成員の啓発活動により「悪質商法」を未然に防ぐなど成果が出ている。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・平成17年度から毎週金曜日に市役所にて消費生活専門相談員による消費生活相談窓口を設けた。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1204
事業コード		事務事業名	創造的事業活動支援事業	
根拠法令等	蒲郡市創造的事業活動支援要綱	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	工業

②事務事業の内容

対象(受益者)	市内に居住し、事業所を有する個人、法人、組合、新規創業者に対して
手段	市有地の斡旋、技術研究費用の補助、公的融資制度に対する補助等を実施することによって
想定する成果	創造的事業活動による新たな事業分野の開拓を支援し、地域産業の活性化を図る。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
技術研究費補助金	4件 1,713,000	2件 1,344,000	3,800,000
施設等の賃借料補助金外	1件 34,000	1件 57,000	650,000
総事業費	4,534,100	4,550,980	—
対象事業	服飾大学と技術提携し新商品開発、LEDを光源にライトシステム、みかんの有望品種研究等	マリーナ向統合ソフト開発、LEDを光源にライトシステム等	—

④成果指標

成果指標名	①	②
	補助率	補助対象事業数累計
成果指標の説明	補助金額/総事業費×100	補助対象事業数累計

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	—
	実績	38.5%	30.6%	—
成果指標②	計画	—	—	—
	実績	10件	13件	—
事業費	事業費	1,747	1,401	4,450
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	3,354	3,010	6,041
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,354	3,010	6,041

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	2	優れた内容の補助申請はあったが、事業として発展が望まれる。
経済効率性	2	2	補助率45%、上限90万円に対し企業者の自己負担割合の多いものがあった。
事務効率性	2	2	
必要性	2	2	先進的・独創的な技術やノウハウを研究開発し、それを事業化していく中小企業者を支援し、地域産業の活性化を図るため必要である。
小計	7 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	9 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
蒲郡市ベンチャーファクトリー支援制度として平成10年度から始まった制度であるが、平成16年度より蒲郡市創造的事業活動支援制度として、申請書類の簡素化を図るとともに外部審査委員会を廃止し、内部審査会に対応することとした。また、前制度では産業分野を限定していたが、今回の制度では、あらゆる産業を対象とした。	

⑧今後改善すべき点

18年度までの期間限定の制度となっているが、今後、延長を含め検討する。

⑨平成19年度予算に反映する項目

地域振興を図るため、所要の予算要求をしたい。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	地場産品アンテナショップ事業	
根拠法令等	なし	A法令	B条例	C規則 Dその他 <u>Eなし</u>

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	工業

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市の主力地場産業である繊維産業に対して
手 段	アンテナショップ夢織人の事業をバックアップすることにより
想定する成果	繊維産業の活性化を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
商品総売上金額	(11ヶ月分) 11,948,454円	(11ヶ月分) 9,119,348円	10,000,000円
営業日数	281日	287日	308日
本店・イベント等の売上(ラゲナ、蒲郡プリンス、名豊を除く)	6,783,189円	8,187,538円	8,900,000円
上記の購入者数	2,676人	2,067人	2,250人
委託料の内訳 (13,064千円)	人件費:14人 10,060千円 物件費:家賃等 3,004千円	—	—

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	1日当たりの商品売上金額	1人当たりの購入金額
成果指標の説明	商品総売上金額/営業日数	本店・イベント等の売上金額/購入者数

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	32,467円
	実績	42,521円	31,775円	—
成果指標 ②	計画	—	—	3,956円
	実績	2,535円	3,961円	—
事業費	事業費	13,064	0	0
	人件費	3,215	805	796
	(人数)	0.4	0.1	0.1
	合計	16,279	805	796
財源内訳	国			
	県	13,064		
	市債			
	その他			
	一般財源	3,215	805	796

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	平成17年度から場所を移転して自主運営となったが、新商品を開発するなど商品の充実、ショップの本来の目的である消費者ニーズの確認、また市内外のイベント参加などによる販売の促進や三河木綿産地のPRが図られた。
経済効率性	3	3	平成14～16年度までは100%県の補助金を受けて、民間に委託をしていたが、平成17年度から自主運営となったため、市の補助金等の負担はない。
事務効率性	2	2	管理運営等全て自主運営になったが、突発的なことや細かい事務等は担当課で対応している。
必要性	2	2	蒲郡市の繊維産業の活性化のためにも必要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	1	2	ショップのお客であり、消費者ニーズの提供者でもある。
合計	10 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	低迷が続く繊維産業界の中で、新商品の開発や市内外のイベント等に参加し、三河木綿産地のPRを行うとともに消費者ニーズを探る場として産地の活性化に貢献している。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・平成14年度～16年度については、県から緊急地域雇用創出特別基金事業費補助金を受けて民間に事業を委託して支出していたが、平成17年度から元町から港町のマリンセンターハウスに移転して、出店者による自主運営となった。	13,064千円

⑧今後改善すべき点

・お客のニーズの中に男性用の商品が少ないとの意見があるので、商品の開発をして対応していく必要がある。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	三河縞復元関連事業	
根拠法令等	なし		A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	工業

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市の主力地場産業である繊維産業に対して
手段	「三河木綿・三河縞」の復元作業を行う「手織場」を補助することにより
想定する成果	繊維産業の地域ブランドイメージの創出及び活性化を図る。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
展示会開催日数	10日	9日	9日
展示会入場者数	1,532人	750人	800人
作成反物数	39反	31反	30反
年間活動日数	251日	306日	230日
手織場教室回数	—	44日	45日
参加人数	—	6人	6人

④成果指標

	①	②
成果指標名	1日当たりの展示会入場者数	1人当たりの作成反物数
成果指標の説明	展示会入場者数/展示会開催日数	作成反物数/作成者数

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	89人
	実績	153人	83人	—
成果指標②	計画	—	—	2反
	実績	2.4反	1.6反	—
事業費	事業費	17,396	800	800
	人件費	3,215	1,609	796
	(人数)	0.4	0.2	0.1
	合計	20,611	2,409	1,596
財源内訳	国			
	県	17,396		
	市債			
	その他			
	一般財源	3,215	2,409	1,596

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	平成17年度から自主運営となり、港町と西浦の工房で活動しているが、活動できるスタッフが子育てなどで少ない。また、織った反物から商品を作製し、販売に繋がるまでには至っていないが、手織場と観光との連携が西浦温泉の工房で図られつつある。
経済効率性	2	2	平成14～16年度までは100%県の補助金を受けて、民間に委託していたが、平成17年度から自主運営となったが、市が80万円の補助金を負担している。
事務効率性	2	2	管理運営等全て自主運営になったが、突発的なことや細かい事務等は担当課で対応している。
必要性	2	2	手織場での復元作業は、各方面から注目されており、今後もPR面や観光と連携した展開などで必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	手織場や「手織場展」で作業工程の見学や体験ができる。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	三河木綿・三河縞の復元作業でマスコミで取り上げられPR面などで貢献しているが、織った反物の商品化、観光と連携した取り組みが図られる必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・平成14年度～16年度については、県から緊急地域雇用創出特別基金事業費補助金を受けて民間に事業を委託していたが、平成17年度より自主運営となり港町と西浦の2ヶ所の工房で活動している。	16,596千円

⑧今後改善すべき点

・若いスタッフが多いので、子育てをしながら、また、この活動で生活していけるだけの収入が見込める事業展開を考える必要がある。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	ミカワテキスタイルネットワーク協議会	
根拠法令等	なし		A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	工業

②事務事業の内容

対象(受益者)	市内の繊維関連企業で組織するミカワネットワーク(MTN)協議会に対して
手 段	運営費の一部を補助をすることによって
想定する成果	新しいモノづくり、販売方法の確立など産地の活性化及び提案型産地を推進する。

③事業の概要

(千円)

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
協議会補助金額	2,000	2,000	1,600
総事業費	4,491	3,193	4,146
総事業費の主なものの内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 657 ・HP管理委託料 1,822 ・織柄デザインコンテスト代等 1,135 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 621 ・HP管理委託料 1,004 ・織柄デザインコンテスト代等 1,037 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 800 ・HP管理委託料 1,200 ・ロープのエンブレム代等 1,100

④成果指標

成果指標名	①	②
	補助率	MTN協議会参加事業所数
成果指標の説明	補助金額／総事業費×100	MTN協議会参加事業所数

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	38.6%
	実績	44.5%	62.6%	—
成果指標 ②	計画	—	—	70社
	実績	81社	77社	—
事業費	事業費	2,000	2,000	1,600
	人件費	3,215	2,414	2,357
	(人数)	0.4	0.3	0.3
	合計	5,215	4,414	3,957
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,215	4,414	3,957

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	過去3年間に渡り募集して蓄積されたチェックアンドストライプの柄を利用して、市内の繊維業者と連携したオーダーオ織物の事業展開が遅れている。
経済効率性	1	2	繊維産業の低迷している中、繊維業界の一助となっている。
事務効率性	2	2	市職員が携わる事務が徐々に増えている。
必要性	2	2	低迷が続く繊維産業の活性化を図るためにも必要である。
小計	7 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	1	HP「夢織人」でのチェックアンドストライプの織柄コーナーやプレゼントコーナーなどで参加している。
合計	8 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	従来の組合の枠を超えた協議会で、低迷する繊維産業の中で、徐々ではあるが提案型産地づくりが図られつつある。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・平成18年度に補助金の見直しを行った。	400千円

⑧今後改善すべき点

・会員にとって商売に繋がっていくような事業展開が必要であり、平成18年度はロープで作製した小物などの商品化及び三河木綿をミカンの木で染めた織物でネクタイ、ハンカチ、ランチョンマットなどの商品化を目指して事業を展開中である。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	愛知万博関係事業（愛・地球博ファッションショー）	
根拠法令等	なし	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	工業

②事務事業の内容

対象（受益者）	愛・地球博ファッションショー実行委員会に対して
手 段	愛知万博「蒲郡市の日」にファッションショーを開催するための負担金を交付することにより
想定する成果	蒲郡市の基幹産業である繊維産業の振興とPRの推進を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
ファッションショー事業費	—	4,304,003円	—
蒲郡市の日の総事業費	—	10,054,106円	—
蒲郡市の日の蒲郡市民の参加数（ファッションショー事業を含む）	—	750人 （内ファッションショー事業関係者30人）	—

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	蒲郡市の日の総事業費に対するファッションショー事業の割合	ファッションショー事業費に対する負担金の割合
	ファッションショー事業費／蒲郡市の日の総事業費×100	負担金額／ファッションショー事業費×100

⑤事業の進捗状況

		（ 一般会計 ）			（千円）
		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算	
成果指標 ①	計画	—	—	—	
	実績	—	42.8%	—	
成果指標 ②	計画	—	—	—	
	実績	—	100.0%	—	
事業費	事業費	—	4,304	—	
	人件費	—	1,609	—	
	(人数)	—	0.2	—	
	合計	—	5,913	—	
財源内訳	国	—	—	—	
	県	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	一般財源	—	5,913	—	

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	万博「蒲郡市の日」のイベントとして、三河産地の素材で作られた80点のファッションを発表したことにより、蒲郡市の繊維産業のPRが図られた。
経済効率性	2	2	繊維産業の低迷している中、新聞などによる報道により経済効果等が図られたと思う。
事務効率性	3	2	事務局が市であったのである程度効率よく対応できた。
必要性	2	2	蒲郡市の繊維産業の活性化のためにも必要であった。
小計	10 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	2	「蒲郡市の日」でのイベントであるので、市民参加があった。
合計	11 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	蒲郡市の地場産業である繊維産業のPRが図られた。
------	---	---	--------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度のみで終了した。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】